

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

丹波市立西小学校

令和8年4月22日に「国語」と「算数」の2教科はテスト形式で、「質問調査」はオンライン形式で行いました。

1 調査結果のポイント

<学力について>

資料をもとに自ら考え、その根拠を言葉や数を用いて明確に説明・表現する「思考力・判断力・表現力」の高いことがわかりました。国語では「知識及び技能」の中の「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率は全国平均を上回っています。算数でも複数の表からデータの矛盾を見つけ、その根拠を説明する問題が全国平均を上回りました。単なる知識の暗記にとどまらず、「情報を分析して、自分の言葉で発信する力」が育っています。一方で、以下のような課題も見られました。

【国語】同音異義語や同訓異字など、文脈に合わせた漢字の表記・使い分けに課題があります。言語活動においては、複数の話し合いの記述から必要な情報を比較・整理し、構造的に理解する処理能力に課題が見られます。

【算数】割合（百分率）を「基準量に対する割合（倍）」として概念的に捉えることに課題があります。具体的には、比較量と割合から全体量を算出する問題で苦戦しています。情報活用の面では、単純な表の読み取りはできているものの、複数の表から条件を比較・整理して必要な情報を読み取る場面で課題が見られます。

<生活面について（児童質問紙から）>

「友人関係に満足している」や「困っている人を助ける」といった項目で全国平均を上回っており、人とのつながりを大切にしている本校の良いところが見られました。一方で心配な点もいくつか見られます。

【読書】教科書や参考書・漫画や雑誌を除く書籍（電子書籍を含む）を読む時間が全平均より少ない子が目立ちます。また、本を読んだり借りたりするために学校の図書室に行く回数も少ない傾向にあります。

【SNS】スマートフォン等で動画を視聴する時間（学習に使うのは除く）は全国平均より多いです。特に「4時間以上視聴している」と答えた子が全体の3分の1を占めており、生活習慣への影響が懸念されます。

2 今後の取り組み

今回の結果を受けて、学校では以下の重点的な指導・支援を進めてまいります。

授業の工夫：言葉の意味を考えながら漢字学習を進めたり、「要点をメモしながら」対話活動を行わせたりします。また、「割合・倍」の関係を図で視覚的に整理させたり、複数の表を読み取って言語化させたりする指導を進めます。

読書の勧め：語彙力や思考力の土台となる「読書習慣」を伸ばすため、「図書館プロジェクト」や「家庭読書の日」と連動しながら、読書に親しむ環境づくりを進めていきます。

SNS への向かい方：子どもと SNS の関わり方は、全国的・世界的な課題となっています。保護者の皆様と協力して、子どもたちが身につけるべき「上手な付き合い方」を考えていきたいと考えています。10月21日の参観日では「スマホ教室」を行いますので、ぜひご参加ください。

その他にも、今回の調査では子ども達の素晴らしい姿がたくさん見られました。伸びている強みはしっかりと褒めて伸ばしつつ、課題については、学校とご家庭が協力して、お子さんのさらなる成長をサポートしていきましょう。